

特集 命を大切に作る心を育む県民運動 P1~2
 みんなで子育て!楽しく子育て!・今こそ守る!!地域医療 P3
 家族の命を守るために~風水害への備え~ P4
 「あおもり型県産材エコポイント」制度・縄文時遊館新展示室オープン! P5
 観光コンテンツの紹介・青森県基本計画未来への挑戦 P6
 イベント特集・情熱青森!レポート・申吾のほっとコラム P7
 インフォメーション P8



青森県立八戸東高等学校表現科3年生のみなさん

情熱
特集

“ひとつのいのち”は
みんなのいのちとつながっている!
「命を大切に作る心を育む
県民運動」を推進しています。

「命を大切に作る心を育む
同世代応援メッセージ大会」で
最優秀賞に輝いた青森県立
八戸東高等学校表現科

Q. ここでは、どんなことを
学んでいるの?

A. 全国で唯一、ダンス、演劇、
物語の制作など、身体や言語
を使い、表現について幅広く
学んでいます。

大会へは、表現科の学習の一環とし
て、表現の幅を広げるため、「命」を表現
し、大切さを伝えることに挑戦しよ
うと、出場を決めました。

大会出場にあたり、クラス全員で、命
というものについて考えてみました。
考え方は人それぞれ。ひとりぼっちに
なりたくない、傷つきたくないから、人
に合わせて自分を隠し、二面性を持っ
て生きていこうとする人もいるかもし
れない……。

でも、人はひとりぼっちじゃない。何
か困難なことに直面したとき、視点
を変えて周りを見渡すと、同じ境遇の
人や手を貸してくれる人がいるかもし
れない。視野を広げ、ひとりだと思
い込まず、みんなで一緒に立ち上がれば、命を
つなぐことができるのだということ、
これをクラス全員で、ダンスとポエム
(詩)により表現しました。

Q. 同じ世代が、自ら命を
絶ったり、家族同士で

命を傷つけあう事件が多いこと
について、どう思いますか?

A. すごく悲しいし、腹立たし
いことだと思います。
命はひとりにたったひとつ
だけのものですし、ひとりの命に代わる
ものって絶対ないと思うんです。

嫌だと思ふこと、むかつくことも、い
ろいろ視点を変えてみることで、違っ
て思えてくる。家族や友達、先輩など、近
くにいる人との関わりの中で、思ったこと
を内にためず、少しずつでも誰かに吐き
出すことができれば、心が楽になる。そ
のことにより、自らの存在が、人に支え
られていることを実感し、感謝する気持
ちがわいてくるのではないだろうか。

また、自らが夢中になれる何かを見つ
けることも大切。一つでも「これだけは」
という自信に満ちたものがあれば、自分
の命が輝きたすんじゃないかな。

Q. 「命ってどういふもの?
」

A. 一人ひとりの存在自体が、
「命」だと思います。

命があるからこそ喜びや悲
しみを感じる事ができる……。私たち
は「表現」を通じて、隣にいる人の存在の
確かさ、頼もしさに気づかされました。
信じることは勇気のいることです。
自分から心を開かなければ何も始まり
ません。でもそこを越えないと、本当の
心と心のつながりは生まれないと
思っています。

信じることを恐れず、心の底から信じ
合う。そうすれば自分ひとりじゃな
い、みんなとつながっていると感
じることができるとは思いませんか?